



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	35,569	20.1	8,060	46.5	8,884	284.4	6,529	287.8
29年3月期第2四半期	29,615	31.5	5,500	176.0	2,310	△5.2	1,683	3.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 6,867百万円(—%) 29年3月期第2四半期 34百万円(△97.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	188.19	—
29年3月期第2四半期	49.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	157,544	120,856	76.7
29年3月期	141,931	104,879	73.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 120,843百万円 29年3月期 104,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
30年3月期	—	25.00			
30年3月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	16.9	15,000	33.2	15,000	49.4	10,000	38.9	273.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	36,600,000株	29年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	87,263株	29年3月期	2,117,503株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	34,695,763株	29年3月期2Q	34,217,754株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では良好な雇用環境を背景に個人消費主導の景気拡大が続いており、欧州でも雇用の改善や堅調な内需に支えられて景気の回復が顕著となっています。中国においても個人消費や公共投資を中心に依然として高い経済成長率を維持しています。わが国においても個人消費が回復傾向にあり、企業収益も総じて改善するなど景気は緩やかな回復基調が続いています。

このような経済情勢の中、当社グループは世界各地のユーザーのニーズに応えるべく、各産地に密着した提案営業を展開しました。

コア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では先進国向けニット製品の大量生産拠点であるバングラデシュやASEAN諸国において、生産リードタイムの短縮化を実現する編成効率の高いコンピュータ横編機の導入が好調に推移し、「SSR」や「SVR」などの主力機種の上昇が順調に拡大しました。また中国市場においても、同国のアパレル消費の拡大に伴って、従来のOEM型生産から脱却し自ら企画した高付加価値製品の生産・販売に取り組むSPA型ニットメーカーにホールガーメント横編機「MACH2XS」の導入が進んだことや、シューズ生産向けにコンピュータ横編機の活用が高まったことなどで売上が拡大しました。

欧州でも主力市場のイタリアにおいてホールガーメント横編機の販売が伸長しましたが、地域全体では前年同期並みとなりました。中東のトルコでは夏頃から回復の動きが見られますが、前年同期に比べると設備投資は低調となり売上高は減少しました。また国内市場においてもコンピュータ横編機の売上高は前年同期を下回る推移となりました。

これらの結果、横編機事業全体では売上高は295億69百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

デザインシステム関連事業においては、高精細かつ高速にデザインシミュレーションを実現する「SDS-ONE APEX3」やユーザーニーズに幅広く対応した自動裁断機「P-CAM」の販売が堅調に進んだことで売上高は19億80百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

手袋靴下編機事業は、大手ユーザーの設備更新が進んだものの売上高は8億69百万円（前年同期比5.4%減）と、やや減少しました。

部品売上などのその他事業につきましては、売上高は31億50百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間全体の売上高は355億69百万円（前年同期比20.1%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加に加えて増産効果による売上総利益率の改善などにより営業利益は80億60百万円（前年同期比46.5%増）と増加しました。また営業外では前期に計上した大幅な為替差損が為替差益に転じたことなどで経常利益は88億84百万円（前年同期比284.4%増）と大幅に増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益は65億29百万円（前年同期比287.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は現金及び預金の増加などで前期末に比べ156億12百万円増加し、1,575億44百万円となりました。負債合計は買掛債務の減少などで前期末に比べ3億63百万円減少し、366億87百万円となりました。また自己資本の額は、1,208億43百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて2.9ポイント上昇し76.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において売上債権の増加や法人税等の支払いなど資金の減少項目はありましたが、税金等調整前当期純利益が高水準だったことにより28億62百万円の資金の増加（前年同期は7億81百万円の資金の減少）となりました。投資活動においては有形固定資産の取得による支出などにより14億30百万円の資金の減少（前年同期は6億44百万円の資金の減少）となりました。また財務活動においては新株予約権の行使による自己株式の処分などにより75億78百万円の資金の増加（前年同期は8億62百万円の資金の増加）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末に比べて89億7百万円増加し、271億93百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月1日に発表しました平成30年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,160	27,505
受取手形及び売掛金	67,268	71,859
商品及び製品	10,495	10,627
仕掛品	1,322	1,298
原材料及び貯蔵品	5,760	5,916
その他	3,573	4,247
貸倒引当金	△1,844	△2,318
流動資産合計	105,736	119,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,755	5,590
土地	10,962	11,322
その他(純額)	5,103	5,804
有形固定資産合計	21,821	22,717
無形固定資産		
のれん	3,873	3,665
その他	273	322
無形固定資産合計	4,146	3,987
投資その他の資産		
投資有価証券	8,058	8,815
退職給付に係る資産	778	832
その他	2,974	3,260
貸倒引当金	△1,583	△1,205
投資その他の資産合計	10,226	11,702
固定資産合計	36,194	38,408
資産合計	141,931	157,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,220	3,954
電子記録債務	2,457	1,317
短期借入金	9,975	13,718
1年内返済予定の長期借入金	5,000	-
未払法人税等	2,120	2,686
賞与引当金	865	1,344
債務保証損失引当金	479	502
その他	6,332	8,333
流動負債合計	32,450	31,857
固定負債		
長期未払金	1,051	1,051
リース債務	1,890	2,131
退職給付に係る負債	921	942
その他	736	705
固定負債合計	4,600	4,830
負債合計	37,051	36,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	25,867
利益剰余金	80,480	86,141
自己株式	△6,140	△253
株主資本合計	110,923	126,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	919	1,143
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△250	△135
退職給付に係る調整累計額	226	223
その他の包括利益累計額合計	△6,108	△5,771
新株予約権	55	-
非支配株主持分	8	12
純資産合計	104,879	120,856
負債純資産合計	141,931	157,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	29,615	35,569
売上原価	15,605	18,479
売上総利益	14,010	17,089
販売費及び一般管理費	8,509	9,029
営業利益	5,500	8,060
営業外収益		
受取利息	164	302
受取配当金	109	108
為替差益	-	316
その他	271	315
営業外収益合計	544	1,042
営業外費用		
支払利息	21	85
売上割引	-	75
為替差損	3,659	-
その他	52	57
営業外費用合計	3,734	218
経常利益	2,310	8,884
特別利益		
投資有価証券売却益	18	-
新株予約権戻入益	-	41
特別利益合計	18	41
特別損失		
投資有価証券償還損	42	-
特別損失合計	42	-
税金等調整前四半期純利益	2,286	8,925
法人税、住民税及び事業税	516	2,653
法人税等調整額	85	△259
法人税等合計	601	2,394
四半期純利益	1,684	6,531
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,683	6,529

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,684	6,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	430	224
為替換算調整勘定	△2,074	114
退職給付に係る調整額	△6	△2
その他の包括利益合計	△1,649	336
四半期包括利益	34	6,867
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33	6,865
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,286	8,925
減価償却費	849	1,020
のれん償却額	193	202
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△71	88
賞与引当金の増減額(△は減少)	342	479
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△36	△33
受取利息及び受取配当金	△273	△410
支払利息	21	85
為替差損益(△は益)	2,172	155
投資有価証券売却損益(△は益)	△18	-
投資有価証券償還損益(△は益)	42	-
新株予約権戻入益	-	△41
売上債権の増減額(△は増加)	△6,855	△4,600
たな卸資産の増減額(△は増加)	△303	△228
その他の流動資産の増減額(△は増加)	366	△281
仕入債務の増減額(△は減少)	1,378	△2,578
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△190	2,029
その他	△27	△152
小計	△123	4,660
利息及び配当金の受取額	272	408
利息の支払額	△22	△89
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△908	△2,117
営業活動によるキャッシュ・フロー	△781	2,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△479	△215
定期預金の払戻による収入	954	772
有形固定資産の取得による支出	△871	△1,322
有形固定資産の売却による収入	0	18
投資有価証券の取得による支出	△547	△503
投資有価証券の売却による収入	263	-
投資有価証券の償還による収入	237	-
その他	△200	△181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△644	△1,430

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,809	3,700
長期借入金の返済による支出	-	△5,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△176	△270
自己株式の取得による支出	△0	△3
配当金の支払額	△769	△861
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	-	9,985
新株予約権の発行による収入	-	28
財務活動によるキャッシュ・フロー	862	7,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	△916	△103
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,479	8,907
現金及び現金同等物の期首残高	9,752	18,286
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	145	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,418	27,193

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,741	1,801	919	26,462	3,153	29,615
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	23,741	1,801	919	26,462	3,153	29,615
セグメント利益	7,371	366	219	7,957	381	8,338

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	7,957
「その他」の区分の利益	381
全社費用(注)	△2,838
四半期連結損益計算書の営業利益	5,500

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,569	1,980	869	32,419	3,150	35,569
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	29,569	1,980	869	32,419	3,150	35,569
セグメント利益	9,868	564	194	10,627	388	11,015

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	10,627
「その他」の区分の利益	388
全社費用(注)	△2,955
四半期連結損益計算書の営業利益	8,060

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	29,627	152.4%	11,834	162.0%
デザインシステム関連	2,209	102.9%	536	72.7%
手袋靴下編機	1,963	185.0%	1,323	348.3%
合計	33,800	149.2%	13,693	162.6%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	29,569	124.5%
デザインシステム関連	1,980	109.9%
手袋靴下編機	869	94.6%
その他	3,150	99.9%
合計	35,569	120.1%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。